

誠実に！真剣に！
情熱を持って！

まさのぶ通信

Vol. 1

2012.2.22

発行：おりはら政信後援会 山形市沼木863-2 TEL:023-643-5094

大雪被害で実情調査！ 公明新聞 2月6日付けから

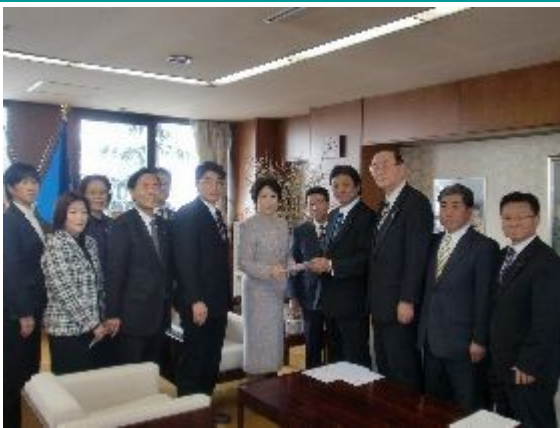


公明党の井上義久幹事長は5日、記録的な大雪に見舞われている山形市内で、同市豪雪対策本部の瀧井潤本部長(副市長)と会い、除排雪予算の確保に関する要望を受けた。これには菊池文昭県議と折原政信、武田新世の両市議が同行した。

山形市では、31年ぶりに積雪が90センチを超える大雪となっている。瀧井副市長は、市民生活に重大な影響が出ていることを報告した上で、今冬の除排雪経費が、当初予算の2倍の10億円に達する見込みと説明、「特別交付税による財政支援を」と要望した。

この後、一行は同市下東山の後藤美佐子さん(81)宅を訪問。一人暮らしの後藤さんは「離れて住む息子に頼んで雪下ろしに来てもらっているが、今年は雪が特別多くて大変」と話していた。視察を終えた井上幹事長は「自治体の除排雪費に国が十分な手当てをすべきだ」とした上で、「高齢化の進展に対応した除排雪の体制づくりに全力を挙げていきたい」と述べた。

吉村県知事に予算要望！



公明党山形県本部(寒河江政好代表)は、12月27日県庁内で2012年度の「予算編成に関する要望書」を吉村美栄子知事に手渡し、89項目の施策の実現を申し入れを行いました。これには、寒河江代表のほか、菊池文昭・県代表代行(県議)、那須稔・県幹事長(寒河江市議)、折原政信・県政策局長(山形市議)らが同席しました。

席上、要望の趣旨説明に当たった那須幹事長はまず、東日本大震災、東京電力福島第1原発事故で約1万3800人が同県内で避難生活を続けていることを踏まえ、「避難者に対してできる限りの支援を」と訴えた。

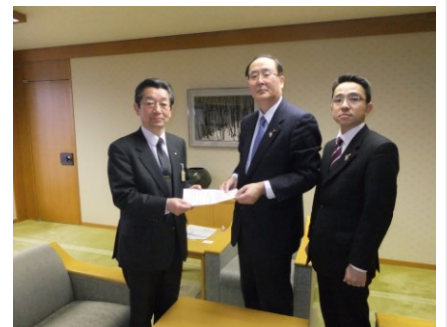
次いで同幹事長は、学校の耐震化整備、自殺対策の強化、がん対策の充実、ドクターヘリの整備促進、盲老人ホームの建設促進、稲わらの地産地消システムの構築などを強く求めた。吉村知事は「細目にわたる要望をいただいたが、(予算編成に当たっては)できるだけ反映させます」と答えた。

公明党山形支部として豪雪対策に関する要望書を提出！

2月15日、瀧井副市長(豪雪対策本部長)に対して、公明党山形支部として支部長の私、折原政信と副支部長である武田新世山形市議会議員とで、9項目からなる「豪雪対策に関する要望書」を手渡しさせて頂きました。

要望の9項目は、①幹線道路は勿論のこと、生活道路や狭隘な道路及び通学路等の除排雪体制の強化。②高齢者・障がい者等に対する雪下ろし、排雪のための支援充実と周知徹底。③ヒートショック防止のための啓発。④転落防止用の命綱使用の啓発と使用方法等の徹底。⑤空屋の把握と持ち主に対する管理指導。⑥果樹被害等の把握と苗木等の一部補助。⑦農道の早期除雪。⑧共同購入による融雪剤補助。⑨山間部での雪崩が多発することが懸念されることから危険箇所等の把握と周知徹底。であります。

今後とも、市民の皆様が安心できる生活環境の確立と保持のために全力で頑張らせて参ります。



公明新聞創刊50周年記念拡大「分会10ポイント」を達成しよう！

おりはら政信のホームページ：<http://masa-ori.com/>